


世界の鉱物採掘現場で起きている環境破壊を軽減するための現地取材・国内企業の環境配慮行動調査ならびに普及啓発活動

活動地域  エクアドル、日本全域

ひろげる助成
3年目
知識の提供・普及啓発

報告会、セミナーなどの参加者 **200**人

企業からのヒアリング **5**社

今年度計画の達成度 **100**%

目標達成度 **100**%



エクアドルでのスピーキングツアー

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

エクアドルでのスピーキングツアーを実施するにあたり、訪問先の様子が把握しづらく、予定調整が難航しぎりぎりまで移動手段や会場確保などの準備が完了しなかった。

■ 工夫した点

現地のコーディネーターを通して各訪問先の主要人物や組織との連絡を代行してもらい、細かい調整についてはコーディネーターに一括管理してもらうことにした。

課題

世界中で、環境配慮が不十分なまま鉱山開発が行われている事例が後を絶たないが、その鉱物を使う日本の市民や企業はその現実に十分に目を向けていない。

目標

- ① 希少生態系への影響が懸念される鉱山開発現場の現状把握
- ② 日本企業の鉱物調達における環境への配慮行動の把握
- ③ 採掘現場における環境問題の市民への啓発

活動内容と成果

2019年9月に鉱山問題に詳しい専門家を2人招聘し、エクアドルでスピーキングツアーを行った。鉱山開発の具体的リスクなどについて計6か所まで延べ250人以上に情報提供し、現地市民社会、住民のエンパワーメントを図った。メーカー、商社など計5社に対しヒアリングを行い、プレスリリースやウェブサイトで公開情報に基づく文献調査を行ったほか、報告書を作成した。採掘問題に関するセミナー現地報告会を計4回実施し、延べ200人以上に採掘現場の環境問題と日本の企業や消費者との関わりについて啓発した。



エクアドル水質調査の現場: 汚染された川

全助成期間の活動を振り返って

エクアドルでの継続的調査の結果、水質汚染の実態を把握することができ、現地の人々が懸念しつつも詳細を把握できていなかった情報を提供できた。それに加え、専門家の見解を直接届ける機会を設けたことにより、鉱山開発から自然環境や自らの暮らしを守ろうとする現地の人々のニーズに応え、エンパワーすることに資する活動となった。また、このような蓄積を通して、日本の企業や市民社会への啓発をより効果的に展開できた。



日本でのセミナー

〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町1-7-11 3F
電話：03-5209-3455
E-mail：office@parc-jp.org
HP：http://www.parc-jp.org



今後の展望

本活動を通して、現地の人々や組織との関係が深まった一方、鉱山開発の問題自体は依然として解決されておらず、今後の現地の人々との連帯・支援をいかに継続していくかについての課題は多く、十全の検討を要するところである。日本側での啓発についても同様に改善の余地は大きく、鉱物採掘における環境配慮の拡充に向けてより効果的な手法を模索し、より広く普及を図るべく活動を展開したい。